

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42361
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和4年3月1日

リコール届出番号	5107	リコール開始日	令和4年3月2日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	原動機（エンジンコントロールユニット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、減速中スロットルを閉じた状態でクラッチレバーを握る際、クラッチレバーの握り幅が小さい場合、燃焼室内に吸入される混合気が薄くなることもある。そのため、最悪の場合、エンストするおそれがある。 ② エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、アイドルリング状態からスロットルをわずかに開けると、燃焼室内に吸入される混合気が薄くなることもある。そのため、最悪の場合、エンストするおそれがある。 ③ エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、スロットルボディの弁を回転させるモーターに流れる電流が遮断されるとともにエンジン警告灯が点灯することもある。そのため、最悪の場合、スロットルボディの弁が操作できず、走行できなくなるおそれがある。 ④ エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、部品またはシステムが故障した場合に、エンジン警告灯が点灯しない。そのため、保安基準第31条別添115（車載式故障診断装置の技術基準）に適合しない。		
改善措置の内容	全車両、エンジンコントロールユニットのプログラムを対策プログラムに書き換える。		
不具合件数	① 0件 ② 3件 ③ 19件 ④ 0件	事故の有無	なし
発見の動機	① 海外市場からの情報による。 ② 日本市場からの情報による。 ③ 海外市場からの情報による。 ④ 社内からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	8BL-RN70J	「TRACER900 GT」	RN70J-000301～RN70J-001113 令和3年3月9日～令和4年2月11日	809台	類別0020
	8BL-RN69J	「MT-09 」 「MT-09 SP」	RN69J-000301～RN69J-001305 令和3年2月10日～令和4年2月9日	1,004台	
	(計2型式)	(計3車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和3年2月10日～令和4年2月11日	(計1,813台)	

(備考) リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。